

1998

H10

第6回 あマ指国家試験

(あマ指6) 医療概論

1~2

あ 6-1 QOL (生命の質) の考え方から最も遠いのはどれか。

1. 尊厳死
2. 延命医療
3. 自然死
4. 在宅医療

あ 6-2 施術者としての倫理について正しいのはどれか。

1. 施術者主導
2. 処方せんの交付
3. インフォームド・コンセント
4. 患者の要求優先

(あマ指6) 衛生学公衆衛生学

3~11

あ 6-3 肥満が危険因子 (リスク要因) となる疾患はどれか。

1. 肝硬変
2. 精神分裂病
3. 糖尿病
4. 自律神経失調症

あ 6-4 老人の医療制度について正しい記述はどれか。

1. 原則として60歳以上を対象とする。
2. 本人負担はない。
3. 医療保険からの拠出金がある。
4. 入院医療は無料である。

あ 6-5 感覚温度 (実効温度) の測定上用いられないのはどれか。

1. 乾球温度
2. 湿球温度
3. 気圧
4. 気流

あ 6-6 地球の温暖化に関係ないのはどれか。

1. 二酸化炭素
2. 光化学オキシダント
3. 地球の熱放射
4. 赤外線吸収作用

あ 6-7 我が国の公害による健康被害でないのはどれか。

1. 原爆症
2. 水俣病
3. カネミ油症
4. イタイイタイ病

あ 6-8 喫煙が危険因子 (リスク要因) となる疾患はどれか。

1. 糖尿病
2. 肝癌
3. 脳出血
4. 肺癌

(あマ指6) 衛生学公衆衛生学

3～11

あ 6-9 日本脳炎の原因となる微生物はどれか。

1. ウイルス
2. 細菌
3. スピロヘータ
4. リケッチア

あ 6-10 逆性石けんによる消毒の対象に適しているのはどれか。

1. 書籍
2. 野菜
3. 汚物
4. 手指

あ 6-11 老人保健法に基づくがん検診に含まれるのはどれか。

1. 前立腺癌
2. 大腸癌
3. 食道癌
4. 甲状腺癌

(あマ指6) 関係法規

12～15

あ 6-12 公費負担医療が優先されるのはどれか。

1. 入院医療
2. 伝染病医療
3. 老人医療
4. 退職者医療

あ 6-13 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法令について正しい記述はどれか。

1. 施術所には広告の制限がある。
2. 施術所には名称の制限はない。
3. 施術所は立入検査を受けることはない。
4. 業務停止命令を受けた施術者は、その身分を失う。

あ 6-14 医療保険の対象とならないのはどれか。

1. 薬剤支給
2. 健康診断
3. 看護
4. 入院

あ 6-15 施術者が業務停止処分を受ける事由はどれか。

1. 素行が著しく不良である者
2. 禁治産者
3. 罰金以上の刑に処せられた者
4. 交通違反を犯した者

(あマ指6) 解剖学

16～38

あ 6-16 線毛上皮を有する器官はどれか。

1. 血管
2. 大腸
3. 気管
4. 子宮

あ 6-17 外胚葉から分化した上皮を有する器官はどれか。

1. 膀胱
2. 肺
3. 心臓
4. 眼球

あ 6-18 横突孔を有する椎骨はどれか。

1. 頸椎
2. 胸椎
3. 腰椎
4. 仙椎

あ 6-19 寛骨を構成しない骨はどれか。

1. 腸骨
2. 恥骨
3. 坐骨
4. 仙骨

あ 6-20 腕尺関節はどの関節に分類されるか。

1. 蝶番関節
2. 車軸関節
3. 鞍関節
4. 楕円関節

あ 6-21 股関節の屈曲に関与する筋はどれか。

1. 梨状筋
2. 小殿筋
3. 腸腰筋
4. 大殿筋

あ 6-22 脛骨に停止する筋はどれか。

1. 長指屈筋
2. 前脛骨筋
3. 半膜様筋
4. 長内転筋

あ 6-23 三角筋の作用でないのはどれか。

1. 肩関節の屈曲
2. 肩関節の伸展
3. 肩関節の内転
4. 肩関節の外転

あ 6-24 直腸について正しい記述はどれか。

1. S状結腸に続く。
2. 腸間膜をもつ。
3. 輪状ヒダがある。
4. 結腸ヒモがある。

あ 6-25 気道について誤っている記述はどれか。

1. 後鼻孔は咽頭に開口する。
2. 喉頭蓋は咽頭と喉頭とを境する。
3. 気管軟骨は馬蹄形をしている。
4. 気管筋は横紋筋である。

あ 6-26 腎臓について誤っている記述はどれか。

1. 腹膜後器官である。
2. 右腎は左腎より低い位置にある。
3. 腎門は腎臓の外側にある。
4. 腎小体は皮質にある。

あ 6-27 子宮はどの部分で膣とつながるか。

1. 子宮角
2. 子宮頸
3. 子宮体
4. 子宮底

あ 6-28 男性ホルモンを分泌する器官はどれか。

1. 精巣上体
2. 精管
3. 精巣
4. 前立腺

あ 6-29 上大静脈はどこへ入るか。

1. 左心室
2. 左心房
3. 右心室
4. 右心房

あ 6-30 下大静脈に直接注ぐ静脈はどれか。

1. 奇静脈
2. 肝静脈
3. 肺静脈
4. 大腿静脈

あ 6-31 胸管について誤っている記述はどれか。

1. 呼吸器の一部である。
2. 乳び槽から始まる。
3. 腸からのリンパが注ぐ。
4. 左静脈角につながる。

あ 6-32 錐体路の起始ニューロンが分布する脳の部位はどれか。

1. 前頭葉
2. 頭頂葉
3. 側頭葉
4. 後頭葉

あ 6-33 脊髄後根をつくる神経線維の種類はどれか。

1. 運動神経
2. 感覚神経
3. 交感神経
4. 副交感神経

あ 6-34 仙骨神経叢から分布する神経はどれか。

1. 外側大腿皮神経
2. 大腿神経
3. 閉鎖神経
4. 坐骨神経

(あマ指6) 解剖学

16 ~ 38

あ 6-35 眼球で網膜に達する光の量を調節しているのはどれか。

1. 角膜
2. 虹彩
3. 水晶体
4. 硝子体

あ 6-36 聴覚器に属さないのはどれか。

1. 耳介
2. 鼓膜
3. 三半規管
4. 蝸牛

あ 6-37 斜角筋隙を通過する血管はどれか。

1. 総頸動脈
2. 腕頭動脈
3. 椎骨動脈
4. 鎖骨下動脈

あ 6-38 腋窩を囲む筋でないのはどれか。

1. 大胸筋
2. 棘上筋
3. 前鋸筋
4. 大円筋

(あマ指6) 生理学

39 ~ 57

あ 6-39 染色体について正しい記述はどれか。

1. 細胞質内に散在する。
2. 蛋白合成の場となる。
3. 細胞分裂の際に形成される。
4. 細胞の活動のエネルギー源となる。

あ 6-40 肺に血液を駆出する心臓の部位はどれか。

1. 右心房
2. 右心室
3. 左心房
4. 左心室

あ 6-41 安静呼吸時に起こる現象はどれか。

1. 横隔膜は挙上する。
2. 肋骨は挙上する。
3. 外肋間筋は収縮する。
4. 腹壁の筋は弛緩する。

あ 6-42 消化液とそれに含まれる消化酵素との組合せで正しいのはどれか。

1. 唾液 - ヌクレアーゼ
2. 胃液 - アミラーゼ
3. 腸液 - ペプシン
4. 膵液 - トリプシン

あ 6-43 肝臓で生成されない物質はどれか。

1. グリコーゲン
2. コレステロール
3. アルブミン
4. ビタミン

あ 6-44 単位重量当たり最も多くのエネルギーを産生する栄養素はどれか。

1. 糖質
2. 無機質
3. 蛋白質
4. 脂質

あ 6-45 膀胱収縮を起こす神経はどれか。

1. 大腿神経
2. 迷走神経
3. 陰部神経
4. 骨盤神経

あ 6-46 糸球体における原尿生成のメカニズムはどれか。

1. ろ過
2. 浸透
3. 開口放出
4. 能動輸送

あ 6-47 乳汁産生を促進するホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. インスリン
4. アンドロゲン

あ 6-48 神経線維の絶縁性伝導として正しい記述はどれか。

1. 興奮は両方向に伝導する。
2. 興奮は隣の神経線維には伝導しない。
3. 興奮は飛び飛びに伝導する。
4. 興奮の大きさは減衰しない。

あ 6-49 循環中枢はどこにあるか。

1. 視床
2. 中脳
3. 小脳
4. 延髄

あ 6-50 視床下部の機能として誤っているのはどれか。

1. 体温調節
2. 摂食調節
3. 自律機能調節
4. 協調運動調節

あ 6-51 後頭葉にある感覚野はどれか。

1. 体性感覚野
2. 視覚野
3. 聴覚野
4. 味覚野

あ 6-52 健康成人のレム睡眠について誤っている記述はどれか。

1. 眼球が急速に動く。
2. 心拍や呼吸が乱れる。
3. 一夜に約 20 回発生する。
4. 夢を見ていることが多い。

あ 6-53 副交感神経の働きで正しい組合せはどれか。

1. 心臓 - 心拍数増加
2. 気道 - 気管支筋弛緩
3. 胃 - 平滑筋収縮
4. 膀胱 - 排尿筋弛緩

あ 6-54 緊急事態に対応するとき起こる反応で誤っているのはどれか。

1. 瞳孔縮小
2. 呼吸促進
3. 血圧上昇
4. 骨格筋血流増加

あ 6-55 筋収縮に重要な蛋白はどれか。

1. ミオシン
2. アルブミン
3. トリプシン
4. ペプシン

あ 6-56 腱紡錘の伸展を伝える神経線維はどれに属するか。

1. a
2. b
- 3.
- 4.

あ 6-57 正常な心筋について誤っている記述はどれか。

1. 横紋構造をもつ。
2. 機能的合胞体をなす。
3. 強縮を起こす。
4. 不随意筋である。

あ 6-58 死の判定に含まれない因子はどれか。

1. 心拍動
2. 眼球運動
3. 呼吸運動
4. 中枢神経機能

あ 6-59 ビタミンとその欠乏症との組合せで誤っているのはどれか。

1. ニコチン酸 - 末梢神経炎
2. ビタミン B₁₂ - 悪性貧血
3. ビタミン C - メラー・バロウ病
4. ビタミン K - 新生児出血傾向

あ 6-60 皮膚の循環障害とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 充血 - 温かく拍動性である。
2. うっ血 - チアノーゼでむくむ。
3. 出血性素因 - 軽い打撲で出血する。
4. 虚血 - しわが消えて硬くなる。

あ 6-61 免疫不全をきたすおそれのあるのはどれか。

1. ガンマ線
2. 紫外線
3. 赤外線
4. 超短波

あ 6-62 再生能力が最も強いのはどれか。

1. 横紋筋線維
2. 平滑筋線維
3. 神経線維
4. 神経細胞

あ 6-63 女性に多い癌はどれか。

1. 喉頭癌
2. 甲状腺癌
3. 食道癌
4. 肺癌

あ 6- 64 奇形が起こりやすい妊娠時期はどれか。

1. 3 か月ころ
2. 5 か月ころ
3. 7 か月ころ
4. 9 か月ころ

あ 6-65 高血圧を伴う疾患はどれか。

1. 膀胱腫瘍
2. 前立腺肥大
3. 睪丸腫瘍
4. 腎硬化症

あ 6-66 知能低下をきたす疾患はどれか。

1. 神経症
2. うつ病
3. アルツハイマー病
4. 精神分裂病

あ 6-67 めまいの原因疾患でないのはどれか。

1. 中耳炎
2. 脳動脈硬化症
3. メニエール病
4. 慢性鼻炎

あ 6-68 腹痛の原因で適切でないのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 尿路結石
3. 急性虫垂炎
4. 糖尿病

あ 6-69 耳鳴りの原因で適切でないのはどれか。

1. 外耳道異物
2. 外耳道湿疹
3. 中耳炎
4. メニエール病

あ 6-70 聴診法による血圧測定で収縮期血圧に相当するのはどれか。

1. 音が聴こえ始める点
2. 音が最も大きく聴こえる点
3. 突然音が小さくなる点
4. 音が完全に消失する点

あ 6-71 気管支喘息発作時の呼吸困難で楽な体位はどれか。

1. 仰臥位
2. 起坐位
3. 側臥位
4. 腹臥位

あ 6-72 安静時腰痛を特徴とするのはどれか。

1. 脊椎骨の先天奇形
2. 骨粗しょう症
3. 悪性腫瘍の脊椎転移
4. 変形性脊椎症

あ 6-73 蛋白尿が認められない疾患はどれか。

1. 前立腺肥大
2. 急性糸球体腎炎
3. ネフローゼ症候群
4. 糖尿病性腎症

あ 6-74 褥創の発生に関係ないのはどれか。

1. 化学療法
2. 栄養失調
3. 長期臥床
4. 片麻痺

あ 6-75 神経痛の起こらない神経はどれか。

1. 三叉神経
2. 副神経
3. 坐骨神経
4. 肋間神経

あ 6-76 ビタミンとその欠乏症との組合せで正しいのはどれか。

1. ビタミンA - くる病
2. ビタミンB₁ - 脚気
3. ビタミンD - 壊血病
4. ビタミンE - 夜盲症

あ 6-77 鉄欠乏性貧血の症状で適切でないのはどれか。

1. 顔面蒼白
2. 易疲労感
3. 徐脈
4. 息切れ

あ 6-78 膀胱炎の症状で適切でないのはどれか。

1. 排尿痛
2. 尿混濁
3. 血尿
4. 糖尿

あ 6-79 細菌性赤痢で誤っているのはどれか。

1. 経口感染
2. 頻回下痢
3. 粘血便
4. バラ疹

あ 6-80 先天性心疾患はどれか。

1. 心房中隔欠損
2. 僧帽弁狭窄
3. 狭心症
4. 心内膜炎

あ 6-81 パーキンソン病の徴候はどれか。

1. 痙性麻痺
2. 筋萎縮
3. 振戦
4. 感覚障害

あ 6-82 胆石症の症状でないのはどれか。

1. 上腹部痛
2. 下血
3. 発熱
4. 黄疸

あ 6-83 アレルギー性鼻炎で適切でない症状はどれか。

1. 発作性のくしゃみ
2. 水様性の鼻汁
3. 鼻づまり
4. 鼻出血

あ 6-84 視力障害を起こさない疾患はどれか。

1. ベーチェット病
2. アレルギー性結膜炎
3. 白内障
4. 緑内障

あ 6-85 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肺結核 - ツベルクリン反応
2. 気管支喘息 - 皮内反応
3. 肺炎 - C R P
4. 肺気腫 - 白血球数

あ 6-86 心房細動と関係の深い疾患はどれか。

1. 脳腫瘍
2. 脳膜炎
3. 脳塞栓
4. 脳出血

あ 6-87 慢性関節リウマチの症状で誤っているのはどれか。

1. 朝のこわばり
2. 対称性の関節の腫れ
3. 皮下結節
4. 指D I P関節の腫れ

あ 6-88 捻挫について誤っている記述はどれか。

1. 無理な関節運動を強いられたときに起こる。
2. 関節面の損傷である。
3. 受傷外力と同一方向の外力により疼痛が再現する。
4. 急性期には患部を冷やす。

あ 6-89 五十肩（肩関節周囲炎）について正しい記述はどれか。

1. 肩甲上腕関節の運動制限がある。
2. 結髪困難は内旋制限による。
3. 結帯困難は外旋制限による。
4. 腱板の萎縮はない。

あ 6-90 腰椎椎間板ヘルニアについて誤っている記述はどれか。

1. L₅ - S₁間のヘルニアではラセーグテストは陽性である。
2. L₂ - L₃間のヘルニアでは大腿神経伸展テストは陽性である。
3. L₅ - S₁間のヘルニアではアキレス腱反射は正常である。
4. 坐骨神経痛は臀部から足部にかけて放散する。

あ 6- 91 性器出血を起こさない疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 卵巣嚢腫
3. 子宮腔部びらん
4. 子宮頸癌

あ 6-92 誤っている組合せはどれか。

1. 肝硬変 - 食道静脈瘤
2. クモ膜下出血 - 頭痛
3. 胃潰瘍 - 咯血
4. 急性腹症 - 胃穿孔

あ 6-93 一次救命処置として適切でないのはどれか。

1. 心臓マッサージ
2. 気道の確保
3. 人工呼吸
4. 輸血

あ 6-94 帯状疱疹の好発部位はどれか。

1. 下顎
2. 胸部
3. 前腕
4. 下腿

あ 6-95 糖尿病の合併症でないのはどれか。

1. 緑内障
2. 壊疽
3. 末梢神経障害
4. 腎症

あ 6-96 痛風について誤っている記述はどれか。

1. 胆石を合併しやすい。
2. 腎障害を合併しやすい。
3. 急性関節炎を起こす。
4. 飲酒により増悪する。

あ 6-97 リハビリテーション領域で福祉事務所が主たる役割を担っているのはどれか。

1. 医学的リハビリテーション
2. 社会的リハビリテーション
3. 教育的リハビリテーション
4. 職業的リハビリテーション

あ 6-98 障害における能力低下の評価はどれか。

1. 関節可動域テスト
2. 徒手筋力テスト
3. 日常生活動作テスト
4. ブルンストロームのステージ

あ 6-99 関節の運動方向と動作との組合せで正しいのはどれか。

1. 母指の対立 - 物をつまむ。
2. 前腕の回内 - 顔を洗う。
3. 肩の伸展 - 手を前にあげる。
4. 股関節の内旋 - あぐらをかく。

あ 6-100 正常の歩行周期で踵接地の次にくるのはどれか。

1. 足底接地
2. 踵離れ
3. つま先離れ
4. 遊脚期

あ 6-101 水治療法に含まれないのはどれか。

1. 渦流浴
2. パラフィン浴
3. 交代浴
4. 気泡浴

あ 6-102 脳卒中片麻痺患者の歩行訓練で誤っている記述はどれか。

1. 立位バランス訓練を行った後に開始する。
2. 不安定な場合は4脚杖を用いる。
3. 3点歩行ではまず健側下肢を前に出す。
4. 内反尖足には短下肢装具を用いる。

あ 6-103 脊髄損傷急性期の訓練で誤っているのはどれか。

1. 関節可動域訓練
2. 残存筋力維持訓練
3. 呼吸訓練
4. 寝返り動作訓練

あ 6-104 変形性膝関節症で適切でない記述はどれか。

1. 歩行開始時痛がある。
2. 関節水腫を起こす。
3. 大腿四頭筋の萎縮がみられる。
4. 外反変形が多い。

あ 6-105 慢性関節リウマチの温熱療法の効果で誤っている記述はどれか。

1. 関節の変形が改善する。
2. 関節の痛みが軽くなる。
3. 筋のスパズムが軽くなる。
4. 末梢血管が拡張する。

あ 6-106 脳性麻痺について誤っている記述はどれか。

1. 病型として痙直型が多い。
2. 聴力障害は言語発達を遅らせる。
3. 異常な運動パターンを示す。
4. 運動療法の開始は3歳まで待つ。

あ 6-107 体の区分で陽に属するのはどれか。

1. 腹部
2. 前腕前面
3. 下腿内側
4. 背部

あ 6-108 五行の土に属するのはどれか。

1. 風
2. 熱
3. 湿
4. 寒

あ 6-109 聞診で診るのはどれか。

1. 口臭
2. 舌の色
3. 意識状態
4. 体温

あ 6-110 肝を傷るのはどれか。

1. 怒り
2. 喜び
3. 憂い
4. 悲しみ

あ 6-111 腹診で腎の臓はどこで診るか。

1. 臍の上
2. 臍の下
3. 臍の左
4. 臍の右

あ 6-112 内因はどれか。

1. 飲食
2. 六淫
3. 七情
4. 労倦

あ 6-113 虚の痛みはどれか。

1. 温めると気持ちがよい。
2. 赤く腫れて痛む。
3. 冷やすと快い。
4. 押さえると痛みが増す。

あ 6-114 臓腑の表裏関係で誤っているのはどれか。

1. 肝と胆
2. 脾と胃
3. 肺と小腸
4. 腎と膀胱

あ 6-115 祖脈でないのはどれか。

1. 浮脈
2. 大脈
3. 遅脈
4. 数脈

あ 6-116 前腕後面正中を通り、顔面に流注する経絡はどれか。

1. 肺経
2. 大腸経
3. 心経
4. 三焦経

あ 6-117 足の経絡でないのはどれか。

1. 肝経
2. 脾経
3. 胃経
4. 心経

あ 6-118 肘に最も近い経穴はどれか。

1. 郄門
2. 手三里
3. 臑俞
4. 合谷

あ 6-119 前脛骨筋上にある経穴はどれか。

1. 陽陵泉
2. 陰陵泉
3. 三陰交
4. 足三里

あ 6-120 第7頸椎棘突起の直下にある経穴はどれか。

1. 大椎
2. 身柱
3. 肺俞
4. 膈俞

あ 6-121 第9肋軟骨付着部の下際にある経穴はどれか。

1. 中腕
2. 大横
3. 期門
4. 天枢

あ 6-122 下肢にある経穴はどれか。

1. 神門
2. 殷門
3. 梁門
4. 風門

あ 6-123 腎経の原穴はどれか。

1. 太衝
2. 太白
3. 太淵
4. 太谿

あ 6-124 総頸動脈拍動部にある経穴はどれか。

1. 天柱
2. 風池
3. 缺盆
4. 人迎

あ 6-125 治療原則で誤っている記述はどれか。

1. 充血に対しては健部誘導法を用いる。
2. 神経麻痺に対しては持続圧迫法を用いる。
3. 内臓疾患に対してはデルマトームを活用する。
4. 神経痛に対しては圧痛点を活用する。

あ 6-126 片頭痛の対応で適切でないのはどれか。

1. 誘導を目的とした上肢への施術
2. ネーゲリーの伸頸法
3. 圧痛部の持続的圧迫法
4. 疼痛部の温電法

あ 6-127 三叉神経第2枝痛の治療点で適切なものはどれか。

1. 眼窩下孔
2. 茎乳突孔
3. 眼窩上孔
4. オトガイ孔

あ 6-128 僧帽筋上部線維上にあるこりに対して用いる経穴はどれか。

1. 膏肓
2. 天宗
3. 天柱
4. 身柱

あ 6-129 特発性肋間神経痛に対する施術で適切でない記述はどれか。

1. 肋間神経の伸展法を行う。
2. 脊柱点には深部に達する力度で行う。
3. 側胸点には軽い母指圧迫法を行う。
4. 背筋の強化運動を行う。

あ 6-130 次の文で示す患者の病態に対する施術部位で適切なものはどれか。

「45歳の男性。宅配業。1年前から肩がこるようになり、右腕がしびれる。スパーリングテスト陽性、アレントテスト陰性。」

1. 鎖骨下部
2. 鎖骨上窩部
3. 後頸部
4. 肩甲間部

あ 6-131 次の文で示す病態に対する施術部位で適切なものはどれか。

「肩関節が痛み、ヤーガソテスト及び上腕二頭筋長頭腱ストレッチテスト陽性。」

1. 結節間溝部
2. 肩関節後部
3. 前胸部
4. 棘下部

あ 6-132 尺骨神経麻痺に対する施術で対象となる麻痺筋はどれか。

1. 上腕二頭筋
2. 上腕筋
3. 円回内筋
4. 骨間筋

あ 6-133 次の文で示す患者に対する治療で適切でないのはどれか。

「60歳の男性。主訴は腰痛。腰は重だるく起床時に痛むが、運動とともに改善する。」

1. コッドマン体操
2. 腰部のホットパック
3. 脊柱起立筋の揉捏
4. 腹筋の強化運動

あ 6-134 次の文で示す患者の病態に対する適切な運動はどれか。

「60歳の女性。運動開始時や歩行時に膝が痛む。膝蓋跳動テスト陽性。」

1. 立位でのつまさき立ち運動
2. 腹臥位での膝関節屈曲運動
3. 仰臥位での下肢伸展挙上運動
4. 仰臥位、膝屈曲位での尻上げ運動

あ 6-135 施術が適応する食欲不振の状態はどれか。

1. 胸やけと胃の膨満感を伴う。
2. 上腹部痛とやせを伴う。
3. 頭痛と嘔吐とがあり、徐脈を伴う。
4. 精神状態の異常を伴う。

あ 6-136 乳汁分泌不全に対する治療で適切でないのはどれか。

1. 乳房に柔らかい按摩法を行う。
2. 乳頭の牽引を行う。
3. 肩背部に揉捏法を行う。
4. 乳房の冷罨法を行う。

あ 6-137 円形脱毛症に対する施術で誤っている記述はどれか。

1. 頭部を叩打し、毛根の代謝を促進する。
2. 後頸部を揉捏し、筋緊張を除去する。
3. 耳の下を圧迫し、顔面神経の機能を抑制する。
4. 前頸部・側頸部を按摩し、頭部の血液循環を改善する。

あ 6-138 施術が適応するインポテンツはどれか。

1. ストレスの蓄積によるもの
2. 内分泌系の障害によるもの
3. 泌尿器疾患を伴うもの
4. 脊髄損傷によるもの

あ 6-139 試合後のジャンパー膝の選手に対する処置で適切でないのはどれか。

1. 膝関節の冷却
2. 膝関節の固定
3. 大腿四頭筋のマッサージ
4. 大腿四頭筋のストレッチ

あ 6-140 高齢者に対する生活指導で適切でないのはどれか。

1. 生活リズムを整える。
2. 安静臥床を守らせる。
3. 心理的ケアを重視する。
4. 清潔保持に努める。

あ 6-141 古方あん摩の「調摩の術」と関係がある手技はどれか。

1. 圧迫法
2. 揉捏法
3. 軽擦法
4. 振せん法

あ 6-142 手指や足指に適した軽擦法はどれか。

1. 指頭軽擦法
2. 手掌軽擦法
3. 指蹠軽擦法
4. 二指軽擦法

あ 6-143 皮下に生じた血腫の吸収を促進するのに適した手技はどれか。

1. 強擦法
2. 圧迫法
3. 揉捏法
4. 振せん法

あ 6-144 骨格筋の伸展運動に应答する受容器はどれか。

1. パチニ小体
2. 筋紡錘
3. 自由神経終末
4. ルフィニ終末

あ 6-145 マッサージを求心性に行う理由で正しい記述はどれか。

1. 動脈の流れを促進する。
2. リンパの流れを促進する。
3. 知覚神経の伝導速度を高める。
4. 脊髄反射を亢進させる。

あ 6-146 あん摩施術により反射的に大腸の蠕動運動が亢進した。遠心路に関与する神経はどれか。

1. 知覚神経
2. 運動神経
3. 交感神経
4. 副交感神経

あ 6-147 ツェルマーク反射を起こす圧迫部位はどれか。

1. 頸動脈洞
2. 胸壁
3. 眼球
4. 足底

あ 6-148 ヘッド帯に関与する組合せはどれか。

1. 内臓と知覚神経
2. 内臓と運動神経
3. 筋肉と知覚神経
4. 筋肉と運動神経

あ 6-149 圧自律神経反射の学説で、非圧迫側の反応について誤っているのはどれか。

1. 血圧上昇
2. 発汗減少
3. 皮膚温上昇
4. 鼻粘膜血管収縮

あ 6-150 汎適応症候群の学説を提唱したのは誰か。

1. ウイナー
2. レイリー
3. セリエ
4. ベルナール